

ProMED-mail 情報 2015年 7月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	エボラ-レストン型 フィリピン	2008-2009年に流行した養豚の生殖、呼吸器症候群にエボラ-レストンウイルスを証明。エボラ関連ウイルスのリザーバーはこうもり種。
28日	手足口病 フィリピン	過去7か月間に612例、フィリピン全土に流行。昨年同時期に比べ175.7%増。患者の6割が男児、半数以上が1-4歳。死亡例無し。
28日	炭疽菌 USA	国防省は、2003年以来106箇所の実験施設に細菌サンプルを192回送付したと発表。国外では日本、英国、韓国、オーストラリア、カナダ、イタリア、ドイツも含まれた。ダグウェイ試験場で生産された炭疽菌の半数ロットは発送前の菌不活化に失敗、活性菌が含まれていた。
26日	腸チフス ネパール	多くの震災地区で、モンスーン襲来に伴い腸チフスの流行。救援ボランティア旅行者にも下痢患者が多数発生、一部で腸チフスと診断。今のところ、コレラ報告は無い。
24日	アナプラズマ症 USA	本年、ニューヨーク州Rsesselaer郡（特にHoosick滝地域）で発生の急増。ダニ媒介感染症のライム病、バベシア症も合わせて、ダニ暴露予防への注意喚起。
18日	化学兵器 イラク、シリア	ISISは最近数週間、クルド人居住地区に3度の化学攻撃を実施。クルド当局は回収された迫撃砲不発弾から塩素ガスを検出。
17日	Q熱 オーストラリア	1990年代に導入されたQ熱ワクチンの家畜と農夫への接種普及で、劇的に発生減少。しかし、2年前から増加、毎年500人近く発症。その約半数の発生地域はクイーンズランド州。連邦政府当局は注意喚起。
12日	日本脳炎 台湾	先週、当局は5例の新患を発表、一般病院で集中治療中。4例は生活圏2km以内に養豚場、ハト飼育場、水田、水源あり。今年の実績数は15例。小児のワクチン接種のみならず、危険地域の成人にワクチン無料接種を推奨。
12日	パルボウイルスB19感染 (りんご病) 日本	6月28日、東京都から400例以上の流行報告。多くの患者は6歳以下。ほとんどは7-10日間で症状消失。年長児、成人例でしばしば悪化し、関節炎出現。特に妊婦は流産恐れあり、感染者と接触を避けること。
10日	重症熱性血小板減少症候群 中国	2009年に中国で発見された致死率12%の新興感染症。流行地域住民のSFTSウイルス抗体陽性率は湖北省6.37%、陝西省、浙江省とも5.51%。中国各地で、住民はSFTSウイルスに既暴露。
8日	レプトスピラ症 インド	鼠や野犬の尿で汚染された汚水が感染源。レプトスピラ菌は洪水後の鼠の繁殖と、それを補食する野犬が保菌者となり、流行発生。清潔な飲料水確保が重要。
6日	ラッサ熱 ナイジェリア	ウイルスをマストミス属野ねずみが媒介。ナイジェリア36州中23州で発生している風土病。今年の実績発生数は156例、死亡5例。感染者の8割は無症状か軽症状。2割が重症化し50%の死亡率。治療にリバビリンが有効。
5日	ウエストナイル熱 ブルガリア	1950年代にヨーロッパに輸入されヨーロッパイエカがウイルス媒介。2010年のギリシャ大流行以来、毎年数百例のヨーロッパ各国内発生。ブルガリア、ソフィアで6月23日に今年の流行開始。
3日	日本脳炎 香港	2013年6例(2例輸入)、2014年5例(3例輸入)の発生報告。6月30日に今年第1例の国内発生、68歳男性がマーガレット王妃病院ICUで治療中。血液、脳脊髄液でウイルス抗体陽性。患者居住地近傍に池、小川あり、養豚場はない。